

## 会 議 要 旨 (意見要旨)

会議の名称	第9期 第6回新宿区男女共同参画推進会議
開催日時	令和4年5月26日(木) 午前10時～12時
開催場所	ウィズ新宿 3階
議長(会長) 氏名	早稲田大学文学学術院 教授 村田晶子委員
出席者(委員) 氏名(人数) 敬略称、順不同	<p>公募区民 柳田 愛美委員          公募区民 小野 栄子委員          公募区民 吉岡 富美子委員          株式会社チェックメイト 藤沢 薫委員          株式会社ホテル小田急 山口 雅雄委員          町会連合会 山田 和男委員          青少年育成委員会 太田 幸一委員          区立小学校PTA連合会 平田 知子委員          公共施設利用団体 宮崎 冴子委員          区立中学校校長会 郡 吉範委員</p> <p>計 11 名</p>
欠席者(委員) 氏名(人数)	<p>神奈川大学法学部教授 井上匡子委員          清泉女子大学文学部地球市民学科教授 安齋 徹委員          民生委員・児童委員協議会 久田 光子委員          区立小学校校長会 長井 満敏委員</p> <p>4 名</p>
事務局の出席者	<p>生田 淳(子ども家庭部長)、渡辺 隆介(男女共同参画課長)          谷崎(男女共同参画主査) 鈴江、三澤          株式会社 創建 内田、砂田</p>

発言者	内容
次第1 開会	
次第2 委員変更について	
次第3 議題 ① 男女共同参画に関する区民及び企業等への意識・実態調査について	
事務局	《 調査概要、新規および削除設問を項目にて報告 》
委員	資料1-2、区民向け、問2の「男女平等参画」という言葉は正確か。
事務局	記載に誤りがある。「男女共同参画」が正。
委員	資料1-3、事業所向け、問15で「育児・介護休業法改正の認知度」を聞いているが、②や④のように改正内容には既に施行されているものも含まれている。これらについて、「知っていた」と回答した人には「実施しているか」も聞いても良いのではないか。従業員向けも同様。 従業員向け調査の対象者について、正規・非正規の比率が同等程度になることが望ましいのではないか。
事務局	「育児・介護休業法改正の認知度」の設問については、ご意見として頂戴し、検討する。 従業員向け調査の対象者については、前回の抽出方法「事業所調査依頼時に、正規従業員2名（男性、女性1名ずつ）、非正規従業員1名をバランスよく抽出、配布していただくよう依頼」を踏襲する予定。事業所内での抽出は事業所まかせにはなる。
委員	従業員向け調査の対象者について。事業所に対象者の抽出を依頼すると事業所の作弄的なものになる懸念がある。区の意図した調査対象にはならないのではないか。区から特に限定はしないのか。
委員	企業の意見として、対象者をあまり限定されてしまうと、特に従業員の少ない事業所は対象者の抽出が難しく、回答してくれない事業所が増えてしまうのではないか。少しでも多くの事業所に回答してもらうには限定しない方が良い。
委員	宮崎委員、藤沢委員の意見ともに意図は分かる。事務局はいかがか。
事務局	まず前提として、従業員5名以上の事業所を対象としている。先に説明した抽出条件に合致する対象者がいない可能性も十分にある。前回の回収率が低いこともあり、回収率を下げず、なるべく多く回収できる設計としたい。
委員	中学生向けの対象者抽出、調査方法はどのようなものか。
事務局	区民向け調査同様、対象者は住民基本台帳から無作為抽出、調査票を郵送する。前回調査票の頭紙にもあるが、中学生本人向けの説明文と、保護者あての説明文を掲載する予定である。
委員	質問をした意図は、回答者の秘匿性がどれくらい担保されるか確認するため。中学生向け、「性の多様性」の新規設問3問はいずれも性的マイノリティの当事者として回答するものではない。自分の生徒から大学で初めてカミングアウトをしたという話をよく聞くもので、今まで誰にも言ったことがない、親にも話

	<p>せないという子が非常に多い。聞いてみると中学生の頃から悩んでいたという子もおり、この調査を通じてそういった子たちに何か性の多様性について知るきっかけ等になると良いのかもしれない。</p>
委員	<p>同じく中学生向け、「性の多様性」の設問について。問 9-1 は問 9 「あなたの周りに自分の性自認や性的指向について悩んでいる人はいますか」で「いる（いた）と回答した人に聞いているが、中学生ではそもそもカミングアウトが難しく、母数が著しく少なくなるのではないか。</p> <p>また、教育現場としては、当事者の数等を把握できるものの方が、情報としては望ましい。</p>
事務局	<p>ご指摘の中学生向け問 9-1 について、記載に誤りがある。問 9-1 は問 9 の回答内容に関わらず、全員に対して回答を求める設問である。</p> <p>区としても当事者に問う設問も検討していたが、中学生だと親と回答を作成したり、家族に回答を見られて意図せぬカミングアウトにつながる危険性を考慮して削除した。</p>
委員	<p>小中高の子がいる親として、中学生だと性の話は親に言うのが難しい、恥ずかしいという子が多く、親がいる状況では当事者の回答は難しそうである。</p> <p>最近の子はスマートフォンなど使いこなしている子が多いので、QR コード等を利用して回答できる仕組みなら秘匿性が担保できるのではないか。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響について、区民、事業所、従業員向けには新規設問があるが、中学生向けにはない。新型コロナウイルス感染症により、家庭生活に大きな影響が出ている子もいるので、子どもから見て家庭内で何が変わったか、変わったことに対してどう思ったか、どうすればいいと思うかなど、何か聞いてみても良いのではないか。</p>
事務局	<p>インターネットを利用した回答は実施する。ただし、調査の対象者となったことを知るきっかけは郵送で届く調査票となり、回答方法は各家庭に委ねることになるので、秘匿性の担保は難しい。</p> <p>中学生向けの新型コロナウイルス感染症に関する新規設問については、中学生が答えられる内容はこういったものか含め、検討させていただく。</p>
委員	<p>新宿区では中学生にタブレットを配布している。用途は教育用に限られているが、区で調整が可能であれば、それを利用するのも手ではないか。</p> <p>また、指定の学校で生徒に直接配布をすると、親に感知されずに調査ができるのではないか。</p>
事務局	<p>大前提として回答者の匿名性を担保する必要があり、住民基本台帳からの無作為抽出としている。指定の学校で配布を行った場合、匿名性の担保が難しいと考えられる。</p>
委員	<p>どのような実施方法が可能かを含め、事務局は引き続き検討をお願いします。</p>
委員	<p>各調査票（案）について、事前に読んで気になった点を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民向け</li> </ul> <p>問 3-1 反対の理由、選択肢 2</p>

	<p>「家事育児は主に女性が担うものだが、」を原文の前に追記</p> <p>問 9 選択肢 1 「育児休業制度等を利用しながら」を削除</p> <p>問 15 選択肢 8～10 選択肢 1～3 までについている（※）をつけても良いのではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生向け</li> </ul> <p>問 4-1 反対の理由、選択肢 2 区民向けと同様。「家事育児は主に女性が担うものだが、」を原文の前に追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所向け</li> </ul> <p>問 16 子育て支援や考え方についての設問だが、男性従業員に限定する必要はないのではないか。選択肢 7 や 8 は女性にも当てはまる話である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員向け</li> </ul> <p>仕事に関する設問が多いが、ワーク・ライフ・バランスなので、労働時間だけではなく、家事・育児時間についても聞いても良いのではないか。</p> <p>問 20 「両立支援制度の男女差の是正」という選択肢を増やしても良いのではないか。</p> <p>問 28 選択肢 8～11 各肢の前に「性別に関係なく」という文言を追加</p>
事務局	<p>多数ご意見をいただき、ありがとうございます。整理して検討させていただきます。この場で言えなかったご意見等ありましたら、本日欠席の委員も含めて6月3日（金）までに事務局へお知らせください。</p>
<b>次第 4 その他</b>	
事務局	<p>《 参考資料を説明 》</p>
閉会	